

やまびこだより

■発行責任者 / 遠阪自治協議会 会長 山本正司
■発行所 / やまびこセンター「萬歳山」 TEL・FAX:88-0420
■URL : <https://www.tamba-plaza.jp/tozaka/>
■E-mail : tosaka@key.ocn.ne.jp

令和4年
6月20日
遠阪楽校
100年先の人づくり

新たな年度に期待を寄せて

遠阪自治協議会会長

山本 正司



梅雨の候、校区住民の皆様には
益々ご健勝にてお過ごしのことと
拝察いたします。

さて、令和四年度遠阪自治協議
会総会において、新たに会長に選
任された山本正司です。

その職責の大きさに身の引き締
まる思いですが、住民相互の親睦
を図りながら生活環境の保持・改
善に努力し、豊かで住みよい地域

づくりに取り組んでまいります。

そのような中、嬉しいニュースが飛び込んできました。過疎
化対策事業の具現化と「鎌倉殿の十三人」に関わる事業のイベ
ント化です。初めに過疎化対策事業ですが、青垣地域が令和三
年度に過疎地域の指定を受け、特別な財政措置を受けて過疎対
策事業が実施されることが決まっています。そして、それ以降、
丹波市担当課より今後の取組について説明を受け、令和五年予
算編成時期までに遠阪地域の地域課題の解決に結びつく要望事
項を提出する運びとなりました。

次に、「鎌倉殿の十三人」に関わるイベント化ですが、その後、
丹波市の支援を受け、出演者のトークショーや「全国の足立さ
ん集まれ祭り」の具体化が大きく膨らんできました。

遠阪の話題が新聞やテレビで報道されるのは心地良いもので
す。日常生活では見逃しがちなニュースも外部機関からの指摘
には新鮮に聞こえて真剣に耳を傾けてまいります。

今後、「鎌倉殿の十三人」に関わる報道を通して、我々住
民が遠阪地域を見直すきっかけとなることにご期待
ください。

一方、山林や農地などの放棄地や空き家の荒廃化
は年々深刻さを増しています。

しかし、今後、遠阪地域で移住者の受け入れが進
み、青垣町内でも遠阪の発展の可能性が大きいと耳に
しました。

非常に困難な時代はまだまだ続きますが、皆様と一丸と
なって歩む所存です。

皆様のご繁栄とご健勝を祈り就任の挨拶と致します。

